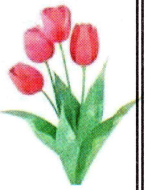


よしき

いきいきとたのしく



〈第45号〉

令和8年3月25日
発行責任者
吉木校区コミュニティ
運営協議会
会長 秀島 義視



「新たなまちづくりをめざす」

副会長 有川 高一郎

「吉木校区コミュニティ運営協議会（以下協議会）」は明るく豊かな活力ある町を築くことを目的として平成20年5月に設立し今年で18年目になりますが、基本方針は次の4つです。

- 安全・安心な地域にしよう
(安全・安心部会)
- 快適な環境をつくろう
(環境部会)
- 健やかに暮らせる
地域にしよう
(健康・福祉部会)
- 校区の一体感を醸成しよう
(コミュニケーション部会)

協議会は発足以来この方針を具体化していくために4つの部会を中心に様々な活動を行ってきました。本年度、協議会方針を従前のものから以下のように新たに追加・補充して活力あるまちづくりを目指してきました。

- ① 協議会を校区災害時の避難活動の拠点として位置づけ、中央公民館を防災訓練などの「学びの場」「訓練の場」「避難の場」とする。
- ② 協議会を地域住民のさらなる「活動の場」「交流の場」としての活力あるまちづくりの拠点と位置づける。



そのために、本年度特に「安全・安心部会」では「地域防犯」の他に「地域防災」を新たに加えて「防災教室・訓練」を12月に実施しました。災害時における協議会のメンバー・自治会長の役割や活動内容等が明確になり地震や風水害などの防災意識も高まりました。

また、「コミュニケーション部会」は11月に「環境部会」との連携で新たに「ふれあい広場」を実施し、親子参加型のイベントを各種開催して地域間・世代間の交流を一層深めました。

吉木校区は自然環境、歴史的文化財、人材など豊富な資源に恵まれたすばらしい地域です。協議会はこの地域の現状を改めて見なおし、今後会長を中心に4部会が連携強化を図り明るく、豊かな活力ある新たなまちづくりを目指していきます。



「環境部会の活動」

環境部会長 筒井 信秋

環境部会では、吉木校区の環境の良さを再確認と、環境保全意識を高めていただくために次の3つの事業を実施しました。

乳垂川を守り育てる事業

- 《ホタル祭り》
・ 5月25日（日）
高倉神社前広場にて開催。

校区美化活動

- 《乳垂川一斉清掃》
・ 5月25日（日）
役員・部員で実施。
- ・ 10月26日（日）は、熊野神社を受付会場として実施。
- ・ 3月1日（日）は、龍昌禅寺駐車場を受付会場として実施。



《小学校ビオトープ清掃》

・10月29日(水)と2月19日(木)に、役員・部員・部員・学校職員で実施。



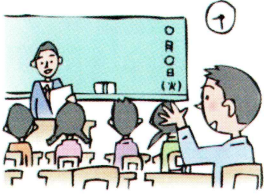
吉木小ビオトープ清掃

環境についての意識涵養事業

《関連機関・先進地視察研修》

・2月5日(木)に、岡垣町浄化センターの視察を役員・部員等で行い、下水の行方・処理方法等について学びました。

また、本年度は、小学4年生と6年生の授業に招かれ、取組を紹介しました。



岡垣町浄化センター視察

「ふれあいサロン交流会・健康づくり教室」

健康・福祉部会長 御領園 正

地域づくり計画書の運営方針で、「小地域ネットワークの発展」を目指しています。次の事業を行いました。

ふれあいサロン交流会

講師は社会福祉協議会の田之上係長と担当の木村さんです。

各自治区でふれあいサロンを担った方33名で、前もってアンケートの回答をもらい共有教材としています。

活動を通じて各区より、お勧めと悩みや困ったことを重点に発表しました。

この発表を受け、後日講師のまとめた項目を全員に送りました。

・若い層(不参加・少ない)

・送迎の対応等

・参加者

・予算・内容



今後に向けてのヒントとなっています。

第2回目の健康づくり教室

・日時 2月7日、いこいの里・団体研修室にて行いました。

・演題 呼吸から考える健康づくり
〜 COPD(慢性閉鎖性肺疾患)を正しく知ろう〜

・講師 新水巻病院 呼吸器内科
生嶋一成 部長

リハビリテーション科
橋口一広 副主任



第2回健康づくり教室

参加者は64名でした。COPD患者は530万人いますが、治療者は1%です。息苦しさ等で生活が困難になる場合が有ります。治療は第一が禁煙です。他には、口をすぼめる呼吸、腹式呼吸をゆつくり行う、治療を受け吸入薬を行う、在宅酸素療法等です。感染予防や体力維持が大切です。

予防には、リハビリで呼吸法や筋力アップ、肩の体操、踵上げを続けること。肺の細胞の復活は不可能です。進行を止めるしかできないので肺は大事にしましょう。

「新しいカタチに変えて」

コミュニケーション部会長

宗岡 信之

11月8日(土)に吉木小学校において新企画の「ふれあい広場」を開催しました。

- ・スポーツ・遊び・食事を組み合わせた新しいイベントの創造
- ・子供も大人も地域の人を知り、互いに心と心をつなげる
- ・ふれあい醸成された絆を育み、活力あるまちづくりを進める

がコンセプトであり、300名近くの人で会場は賑わいました。

グラウンドゴルフ大会

夫婦での参加が4組、家族は7組、子供に至っては22名と、若男女55名が、和気あいあいと好プレーを繰り広げました。

みんなの遊び場

ピオトップ周辺での自然遊び、竹工作や昔遊びなど、親子がいろいろな遊びにチャレンジしました。



グラウンドゴルフ大会



みんなの遊び場

昼食会

てんぐや子ども食堂と連携し、小学校の野外給食場と中央公民館の2会場で実施しました。

メニューのカレーライスは大好評で、「元気な子供たちの「おかわり」が続出しました。

ステージショー・お楽しみ抽選会

イベントの最後は参加者全員が体育館に集合し、岡垣町民吹奏楽団アンサンブルの演奏などで楽しい時間を過ごしました。

ちなみに、今回実施したイベントは、地域学校協働活動の一環でもあり、6年生の児童たちがボランティアとして運営に参画してくれました。



ステージショー

今後は「新しいカタチ」の実施結果を部会のみならず検証し、校区内の一体感の更なる醸成を目指します。

「安全で安心な地域づくりを 目指して」

安全・安心部会長 花田 剛

当部会の主要事業は、「地域防犯」と「地域防災」です。

地域防犯事業

毎週火曜日と土曜日の2回、児童の下校時及び休日の帰宅時の「青パトによる巡回パトロール」が主活動で、現在63名の協力が登録されています。今年度は、役場にて青パト活動のPRを行って頂いており、児童からの声掛け等も増え、パトロール員の意識も大いに高まっています。

地域防災事業

従来の活動に加え、近年の全国的な災害の激甚化を鑑み、昨年12月に中央公民館において「避難所開設訓練」を実施しました。当日は、校区コミュニティの役員・運営委員・校区の防災士の参加のもと、岡垣町地域づくり課の職員の皆様にご指導を頂きました。



最初に吉木校区自主防災組織の組織図・連絡網・役割分担等の説明を行い、その後、町の危機管理専門員の指導の下、避難所開設の体験活動を行いました。



ダンボールベッドの組立



簡易テントの組立

今回は初めての訓練でしたが、地域づくり課のご協力により、関係者の防災意識の向上の端緒になったと思われます。今後とも「災害時の避難は自治区できめ細かく・避難所は校区で協力して」を目標に活動を深化していきたいと思ひます。

「吉木小とコミュニティとのつながり」

吉木小学校 校長 中西 靖彦

本校では、総合的な学習の時間において、「つながりを豊かに創り出す子供の育成」という研究主題のもと、学習を展開してきました。



今回は、6年生の学習について報告します。はじめに、地域の方々を招いた座談会を実施し、子供たちが直接対話を通して地域の現状や課題を把握する機会を設けました。座談会では、地域の魅力だけではなく、人口減少や行事の継承、環境面など、地域が抱える課題について率直な意見を聞くことができ、子供たちの問題意識が高まりました。



その後、座談会で得た気づきをもとに、子供たちは「自分たちができることは何か」という視点で話し合いを重ね、調査活動や意見交換を重ねてきました。その過程で、子供ならではの柔軟な発想や視点を生かした解決策を模索し、具体的な行動につながる5つのプロジェクトを立ちあげました。

それぞれのプロジェクトでは、計画立案から実践、振り返りまでを子供たちが主体となって進め、必要に応じて地域の方々との協力しながら活動を行いました。

例えば、「子ども食堂の紹介や運営の手伝い」、「青色パトへの感謝」などの取組を通して、子供たちは地域への理解を深めるとともに、課題解決に向けて考え、行動する力や、他者と協働する態度を身に付けることができました。



プロジェクトの内容を交流する様子



地域の方の話を聞き取る 6年生

今後は、これらの学びをさらに発展させ、地域と継続的に関わりながら、子供たちの学びが社会とつながる総合的な学習の充実を図っていききたいと考えています。

事務局

- ・ 3月15日(日) 全体会の開催
- ・ 5月16日(土) R8年度総会

【編集後記】

今年度も無事、事業を終えることができました。来年度も、皆様のご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

吉木校区コミュニティ運営協議会
事務局(和田)【中央公民館】

TEL 2882-0162